

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
岩下 千恵子			

授業のねらい（概要）	観光はそれを取り巻く社会状況に常に影響を受けながら変化をしている。また、観光が社会に影響を与えることもある。講義の前半は観光を社会の中の人間の行動として、また社会事象として捉える考え方を学ぶ。日本の国内観光と国際観光の現状と問題点、及び世界各国の観光の現状と特徴を地域ごとに開設する。国際的な視点から、国内外における観光資源の創造・開発、保全、観光政策や観光振興・マーケティングの具体的も取り上げる。この講義では特に国際観光の理解に重点を置くものとする。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、社会的行動としての観光① 予習（時間）：観光社会学とはどのような学問か理解する。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第2回 社会的行動としての観光② 予習（時間）：観光社会学について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第3回 社会事象としての観光① 予習（時間）：観光社会学について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第4回 社会事象としての観光② 予習（時間）：観光社会学について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第5回 日本の国内観光① 予習（時間）：日本人の国内観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第6回 日本の国内観光② 予習（時間）：日本人の国内観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第7回 日本の国際観光① アウトバウンド 予習（時間）：日本人の海外旅行の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第8回 日本の国際観光② インバウンド 予習（時間）：訪日外国人による観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第9回 アジアの観光 予習（時間）：東アジア（韓国、中国、台湾）の観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第10回 オセアニアの観光 予習（時間）：オーストラリア、ニュージーランドの観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第11回 ヨーロッパの観光 予習（時間）：ヨーロッパ諸国の観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第12回 北米アメリカの観光 予習（時間）：米国、カナダの観光の現状について。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第13回 観光のトレンド① 予習（時間）：最近の観光のトレンドについて調べる。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第14回 観光のトレンド② 予習（時間）：最近の観光のトレンドについて調べる。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p> <p>第15回 まとめ 予習（時間）：観光のトレンドについてまとめておく。（120分） 復習（時間）：授業内容の振り返り。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	この科目は、DPに記載のある以下の能力を身に付させる科目になっている。 ・調査、研究のために必要となる様々なスキルを身に付け、観光関連の企業や産業が直面する諸課題に対し必要な高度な判断能力と分析能力
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な視点から、観光を考える基本的知識を持つことができる。</li> <li>・観光の意味と意義を社会との関わりから（社会学的見地から）理解し、観光を社会事象として、また社会的な人間行動として理解できる。</li> </ul>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートはコメントと評価を記して、返却する。
履修上の注意	学部で観光学を学んでいることが望ましい。講義と演習の両方を組み合わせて行う。日本国内や国外の政治情勢や経済情勢などの動きを常に意識すること。

成績評価の方法・基準	課題レポート2本（50%×2）で評価する。
教科書	プリントを配布／データで見る訪日インバウンド市場トレンド2019 著者名：JTB総合研究所 出版社：JTB総合研究所発行年：2019年 HPから無料ダウンロード
参考書・教材	JNTO日本の国際観光統計2018年 著者名：日本政府観光局 出版社：国際観光サービスセンター 発行年：2019年11月 価格：3455円（税別）
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール